



ちばの学童保育

2010年9月12日発行85号

全国研報告	本号の紙面	1頁
／ほいく誌紹介		2頁
流山市の学童保育／繋がり		3頁
情勢		4頁

発行者 千葉県学童保育連絡協議会 船橋市本町3-4-3 千葉保育センター内
TEL047-424-8102 FAX047-424-8108 e-mail chibagakudo@nifty.com

全国研 in ちば 実行委員会報告



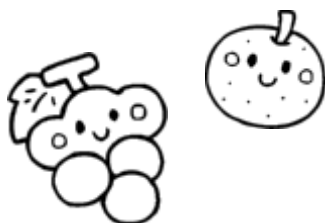
第4回実行委員会 平成22年7月11日(日) 9:30~ 習志野勤労会館

各係りでの地域での話し合いも着々と準備が進み、現在の状況が発表されました。歓迎行事ではできるだけ皆が参加できるよう工夫する話しもあり、決定した内容での地域へのお願いなどは各実行委員より各地域へ配布されることとなりました。また各地域の参加者申し込み数の状況を確認しましたが、まだ集計がとれていない地域も多く、はっきりとした数字がでませんでした。しかし、7月末から8月末にかけて集計・申込みをする地域がほとんどで、目標数に向けての取り組みや問題点を話し合いました。なかでも要員での参加はあるが、参加費を支払っての参加者が少ない問題点などがあがり、取り組みの苦労がみられました。しかし、地域での実情を反映した難しい問題もある中、積極的に行政にも働き続けた成果が見えてきた地域もあり、はじめとは違う状況に動いていました。最後には、一人でも多くの参加者があることがこの集会を成功させる目的があることを皆で確認し合いました。



第5回実行委員会 平成22年8月29日(日) 9:30~ 船橋市中央公民館

夏休み最後の日程にも関わらず、各地域より実行委員代表が船橋市に集まりました。はじめに全国連事務局次長より、国の学童保育状況報告があり、各地域より参加申込み状況の発表がありました。目標数を大幅に超えるほどの参加者数を発表した流山市からは、その取り組みについての報告が出され、更なる働きかけとして、地域の課題を議論することで参加に結び付けることはできないかが話し合われました。まだ集計がとれていないところもありますが、参加目標達成に向けての父母・指導員への働きについて具体的に意見を出し合いました。また、全体作業のスケジュールと準備状況の確認、市町村の後援申請状況、千葉大学の下見の様子、各地域での会議の状況などを報告しました。



全国研まで あと



各分会からの声

今回は 交流会・お土産担当の人に聞いてみました。



イラスト 千葉市渡辺指導員

歓迎行事：千葉市

全国の参加者の皆さんを、千葉の参加者や実行委員、そして一緒に来ている子どもたちで、ぐるりと囲んで会場のみ～んなで大合唱をしよう！！という、全国研初の試みで歓迎行事を行ないたいと思います。曲は“世界に一つだけの花”“we are the world”。是非前に出て歌ってくださいね。幕張メッセの会場を、平和を願う歌声でいっぱいにして全国研をスタートさせましょう。

お土産：市原市

お土産担当の市川市の千葉です。全国研楽しみの1つに資料袋に入っている地域のかたがたの作ったお土産があります。千葉でも記念としてお土産を入れる事になり、市川市だけでなく他の市の方々にも協力していただいて全員に持ち帰ってもらえるよう頑張っています。玩具や折り紙、ビーズなど何が入っているかは当日のお楽しみです。



市川市千葉指導員のナイス笑顔！

第6回実行委員会 9月12日(日)9:30～ 船橋市中央公民館
第7回実行委員会 10月24日(日) 未定

下見へ行ってきました！

平成22年8月27日(金)10:00～ 千葉大学

まだまだ暑～い中、皆で汗を拭きながら、分科会会場下見として千葉大学へ行きました。正門で集合。当日入り口となる門を確認しました。多くの会場係り担当者とその他の係りの人達で、全57教室と体育館また歓迎会を行う学生食堂をできる限りみましたが、広～い大学の色々見て回ると、どこの校舎が会場だったかな？と迷ってしまいそうでした。それでも会場係りで教室を確認するだけでなく、書籍販売やお弁当の受け渡し場所など「どういう方法で？」をシュミレーションしながら、しかし、まるで「〇〇御一行様」のような、下見でした。

日本の学童ほいく

日本で唯一の学童保育に関する専門誌です。月刊で発行。1冊330円(送料76円)でお届けします。

学童保育に関するありとあらゆる情報が満載。全国で4万人の人が購読しています。



8月号表紙

8月号 特集 大規模分割一分けきることにこだわって より

今回は千葉県白井市指導員の文章が掲載されました。

● 8月号「「広くなったが…届かない声」白井市指導員 田村明日香氏
《ちょっと紹介……》

1992年に開所した大山口おおぞら学童保育所は、小学校の校庭の隅にある立木に隠れるように建っていました。(中略)狭いプレハブ施設で60名近くが生活すようになると、文字通り、足の踏み場もない状態。そこで父母と共に「広い学童を！！」と新設運動を行い、2007年小学校の中庭に面した明るい場所に80人規模を想定した広い施設ができました。広く、明るい施設を目の前にして、期待がふくらみました。しかし……(後略) 続きは本誌で！



ひまわり学童クラブ

流山市 保護者

ひまわり学童クラブの中でたくさんのお友達が出来楽しく無事に過ごしてきた1年間の節目に子供たち、先生、父母たちみんなでひまわり学童の大掃除をし、全員で大もちつき大会開催。そして新しい年をみんなで迎える準備をします。

普段すごしてきた学童の中もこの日は子供たちはもちろんのこと、学童の先生、お父さん、お母さん全員で大声をかけながらもちつきをします。子供たちもその掛け声で重い杵を一生懸命持ち上げながら「よいっしょ～」とふらつきながら、おもちになっていくのを喜んで頑張っています。お父さんたちも子供の前でこごぞとばかり自慢の力を発揮し、突くたびに場内では「おうっ～」と歓声があがり寒い中にも関わらず汗をかいてしまうぐらいの熱気です。



いっばい
つくぞー



おもいよー。
でも、がんばる！！



学童の先生が作ってくれた豚汁もまたおいしいので、子供たちはふだん苦手になっている野菜もこの時はばっちり！

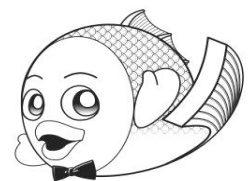
繋がり

全国研 in ちば

平成 22 年 10 月 30 日(土)・31 日(日)
全体会：幕張メッセ(イベントホール)
分科会：千葉大学

皆さん、各地域の参加申込み状況はいかがでしょう？がんばっているけれど、なかなか動きが見えてこない地域がまだまだ多いのではないのでしょうか？しかし、苦戦と思われながらも地道に地域で声をかけ続けた結果、目標を上回る参加数を出している地域もあります！！元気な地域からノウハウとエネルギーをもらいましょう。パワースポットとして元気な地域の会議に参加するもよし、運(?)を招き入れるよう、元気な地域の人を自分の地域にお招きしてもよし。受付は当日まで続きます。

♪ 受付は続く～よお、ど～こまでもお～・・・(線路は続くよどこまでものメロディ
ーで楽しく唄おう)



学童保育をめぐる最近の動き



「子ども・子育て新システム」で学童保育の地域間格差が拡大する？

7月11日発行の「ちばの学童保育」で紹介しましたが、6月29日、政府の少子化社会対策会議（会長：内閣総理大臣）が「子ども・子育て新システムの基本制度案要綱」を決定しました。これは「幼保一本化（幼稚園と保育園の施策を一元化すること）を含む新たな次世代育成支援のための包括的・一元的なシステムの構築」を図ることを目的とし、学童保育制度については「放課後児童給付（仮称）」の創設が打ち出されています。

また、6月22日に政府は「地域主権戦略大綱」を決定しました。これによると、「義務付け・枠付けの見直しと条例制定権の拡大を進める」「国から地方への『ひも付き補助金』を廃止し、基本的に地方が使える一括交付金とする」方針です。前述の「基本制度案要綱」にもこの方針が反映されています。このような制度になれば、市町村の自由裁量に任せられることになり、これまで以上に学童保育の地域間格差が拡大することになり学童保育の基本的な存続に係る大きな問題を含んでいます。さらに、新制度は2013年度から施行する見込みで検討が開始され、拙速なスケジュールであることも問題です。

今、私たちは新制度の情報を収集し、その目的と内容を正確に理解するために研究学習し、状況によっては署名活動の取組など国や地方自治体に働きかけることが求められます。

（「日本の学童ほいく」9月号P.76～79参照）

2011年度 放課後児童健全育成事業（学童保育）関係予算の概算要求の概要

8月26日に来年度の概算要求の内容が提示されました。総額343億円（前年比70億円増）となっており、これまでにない増額です。内容は①放課後児童クラブ運営費（ソフト事業）30,044百万円。②放課後児童クラブ整備費等（ハード事業）4,075百万円。③放課後子ども教室推進事業（文科省所管）との連携促進等272百万円。です。増額分の大半は運営費の増額です。箇所数の増加が要因のひとつですが補助単価の増額も含んでいます。

しかし詳細は公表されておらず、民主党の党首選挙の結果如何では大きく変更されることも予想されます。



訂正とお詫び：2010年7月11日発行85号に誤りがありました。3ページ船橋市葛飾放課後ルームを執筆して下さった保護者の小川博美さんが「小川」ではなく「小林」の誤りでした。訂正とともに深くお詫びいたします。